

M O N O P O W E R A M P L I F I E R

# AUDIO SPACE

モノラル・パワーアンプ

# Reference One



## モノラル・パワーアンプ オーディオスペース Reference One

【主要規格】 型式：管球式モノラル・パワーアンプ、使用真空管：300B×2、845×2、6N9P(6SL7 ECC35)×1、6N8P(6SN7 ECC32)×1、出力：75W(p-p Class A)、再生周波数帯域：20Hz～30kHz ±1dB、入力：バランス×1、RCA×1、外形寸法：495×285×660(WHD)mm、質量：55kg

優れたリアリティをもっているが、とにかく昔の球なので感度が低く効率がよくない。そこをカバーするために、Reference Oneは1,100Vというとてつもない高電圧をかけ、固定バイアスのA級動作で75Wの良質なパワーを引き出している。うっかり素手で触ったりすると生命にかか

わりかねないほどの高電圧だから、われわれしろうとがけっして底板を開けてはならない巨大玉手箱アンプである。

845をドライブする真空管がまたすごい。3極出力管の王様などと呼ばれる天下の名球、300Bを2本使用している。これは、真空管の全盛

時代には想像もできなかった贅沢なつかいかたなのだが、845との相性が格別よいのだろうか、似たような構成の豪華アンプが近年いくつか出現している。また、ことし後半には、別のメーカーからも同様なアンプが出てきそうな気配もある。真空管アンプの時代もいまだ活発に動き、変